

譲渡できる殺処分を0に！

205HR 稲垣 凛 福家 仁美 美馬 郁実

きっかけ

- ・ 動物が好き
- ・ なぜ殺処分されるのか
気になった

方法

- ・ 疑問を話し合う
- ・ インターネットを活用
- ・ フィードワーク

動物愛護センターとは？

- ・ 動物保護施設
- ・ 保健所からきた動物を一定期間
保護
- ・ 期限を過ぎた動物を処分

殺処分の条件と期間

- ・ 野良で協和性がない⇒3日
- ・ 譲渡に向いていない性格⇒20日

11 住み続けられる
まちづくりを



15 陸の豊かさも
守ろう



- 殺処分の仕方
ガス室で二酸化炭素を充満させて
処分。
- 殺処分される理由
飼い主の身勝手な理由
- 動物の致死処分数
年々減少傾向ではあるが0にはなっ
ていない

- 野良犬、野良猫を減らす
猫は一年間で三回出産することもある
去勢手術、避妊手術を進める
- メリット
性病の減少 性的ストレスの開放
問題行動の減少 延命
- デメリット
肥満になりやすい

- 人から保護する動物を減らす
- 飼い主の身勝手な理由
引越先がペット禁止だから
飼い主が入院するから
ペットの治療費がだせないから

可愛いから飼ってみたい⇒×

環境を整える、必要費の確保⇒○

- 老犬老猫を引き取ってくれる人の増加
行動が穏やか 大きさや性格の確定
高齢者も飼いやすい

- ・譲渡できる人の条件

- ①ペットに迎える動物の寿命を知っているか
- ②ペットの飼育ができる良い環境がそろっているか
- ③万が一飼えなくなった時のことを考えているか

良い環境とは？

お金、飼う場所、家族全員の同意
犬であれば散歩ができるかなどを
整える必要がある

私たちができること(お金)

- ・募金する
- ・フードやシーツを送る

譲渡できる動物の条件

- ①攻撃的がないこと
- ②男性を怖がらないこと
- ③手からえさを食べる人人懐っこいこと

(お金なしで)

- ・SNSで広める
- ・ペットショップからでなく愛護センターから
引き取る